

出版ビジネス書／人文書ご担当者様 11月下旬発売 新刊のご案内



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

しん じゅく しょ ぼう おう らい き
新宿書房往来記

むら やま つね お
村山恒夫 著

ISBN978-4-89629-401-9 C0036 46判上製本カバー装／本文344頁／定価3080円（本体2800円＋税）

**50年という歴史をもつ出版社、新宿書房の理念、
その活動の源泉が、いま初めて明らかにされる。**

本をつくるとは人との出会いであり、必ず著者に会うことを約束している、新宿書房代表・村山恒夫は人望が厚く、名編集者として声価が高い。

特に辺境に生きる人びとや辺境の地道な活動を見つめ、丁寧に活字にする。海女の記録、「声なき声の会」の小林トミのこと、山尾三省の葬儀、如月小春の演劇、原爆の図丸木美術館学芸員との対話……。山の作家・宇江敏勝との40年にわたる伴走は、出版界の金字塔と誇っていい。

村山が追究している編集とは何か、出版とは何か。大きな岐路にたつ現代出版界において、村山が初めて語る著作はきわめて意義深いものになるだろう。

おもな内容

百人社の三冊から始まる／田村義也と、巡る人びと／杉浦康平山脈／
編集単行本主義／空と声の記憶／映画・村山四兄弟／山の作家・宇江敏勝と歩む／
小さな美術館、未来へ

村山恒夫 むらやまつねお
新宿書房代表、編集者。1946年神奈川県生まれ。早大卒。70年平凡社に入社、世界大百科事典、百科年鑑編集部に勤める。80年百人社を設立、82年新宿書房に統合し、現職。98年から01年までマイクログリフ社のエンカルタ百科事典編集長を兼任。

◎作家・黒川創による書き下ろし

「いま、これをやらないと後悔するから」——村山恒夫さんのこと」

◎巻末に「新宿書房刊行書籍一覧 1970-2020」

出版に携わる人、編集や出版を志す人の必読の書

番線印	ご注文数	新宿書房往来記 村山恒夫著
		ISBN978-4-89629-401-9 定価 3080円（本体 2800円＋税）
ご担当： 様	冊	港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜 3-11-49 電話：0467-60-1374 FAX：0467-60-1375

*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い